

◎中央状勢報告

麻生久

財團法人協調會大阪支所

「昨年ノ第全國大會後ニ於テ今年ニナレバ國內氣運ノ變化ガアルトノ見透シヲ持ツテ居タガソレハ全ク正シカツタ、即チ從來ノ盲目的反動空氣ガ解消サレテ來タ、從ツテ少數デハアルカ議會鬭争ガ漸次有効性ヲ持ツニ至リ東京ニ於ケル空氣ハ反動擴頭以前ノ順調ナ復活的情勢ニ入ツテ來タ。

ファツシヨノ空氣ガ既往二箇年ノ經驗ニ依リ其ノ遺り方ニ誤謬ガアリ客觀的ニ相容レラレヌ事ガ爆露ザレタ。

戰爭ニ就テモ從來ノ好戰的ナ一時的ナ氣風ガ今日テハ戰爭ヲ防止セ本バナラヌトノ方針ガ現實的ニ證明サレテ來タ。廣田外交ノ方針ハ我ガ大衆黨ノ外交方針ヲ採ツテ居ルト言ツチ憚ラヌ。戰爭氣分ハ解消サレ資本主義打倒ガ輿論トナツテ來タ。

資本主義ノ改革ハ何人ト雖モ認メザルヲ得ヌ狀勢ニアル。愛國團體ノ觀念的ナ好戰的ナ議論ハ日本ノ建前ト合ハヌト云フ

2

財團法人協調會大阪支所

所迄解消シテ來テ今日ハ平和工作、資本主義打倒ヲ是認セ本バナラヌトノ空氣ガ膨レテ來テ居ル。

特ニ東京ニ於テ其ノ空氣ガ著シイ。

黨ノ運動ガ以前ト比シテナリ易クナツテ來ル、其ノ例證トモ見ルベキモノハ從來率ノ惡イ關東ノ選舉ガ近時我黨ノ成功ニ歸シ有利ニ展開シテ來テ居ル。

モウ一度我々ノ運動ヲ是認スル空氣ガ濃厚ニ一般ニ動イテ居ル。此ノ反面議會鬭争ハ或重要性ヲ持ツテ居ル、即チ現在ノ情勢ハ既成政黨ガ復活シテ既成政黨ノ手ニ政權ガ戻ルカ否カノ分岐點ニアル。非常時解消ト同時ニ實業内閣ガ既成政黨ニ圓満ニ政權ヲ引渡スコトニナツテツタ。

之ヲ換言スレバ、ブルデヨア政治ガ復活スルカ否カニアツタ然ルニ反面ニ於テ軍部ノ動キニ變化ヲ來シツ、アル、滿洲事變五一五事件後其ノ内部ニ分解作用ガ起キテ居ル。

3